

**JASDAQ**

平成 26 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 ストライダーズ  
 代表者名 代表取締役社長 早川 良一  
 (JASDAQ・コード9816)  
 問合せ先 役職・氏名  
 取締役執行役員 兼 CFO 前田 嘉也  
 電 話 03-5777-1891

## 特別損失の計上及び業績予想の修正並びに個別業績の前年実績値との

### 差異に関するお知らせ

平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 25 年 5 月 14 日に公表いたしました、平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想について修正し、個別業績の前年実績値との差異が生じる見込みとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上

当社の子会社の株式会社トラストアドバイザーズにおいて、ミャンマーのレンタルオフィス事業を終了することとし、当該レンタルオフィスの解約に係る退去関連費用として特別損失（事業整理損失）6,319 千円を計上することといたしました。

#### 2. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,570	百万円 10	百万円 53	百万円 100	円 銭 1.24
今回発表予想 (B)	2,690	45	91	133	1.64
増減額 (B - A)	120	35	38	33	—
増減率 (%)	4.7	350.0	71.7	33.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	1,689	△147	△113	△353	△4.74

#### 3. 修正の理由

当期の業績につきましては、不動産賃貸管理事業において新規管理物件の獲得が順調に推移し、また、高い入居率を確保することができたこと等により、予想を上回る売上および利益を計上す

ることができました。

また、ホテル関連事業の業績につきましても、第2四半期までは内装等の設備投資等により利益面では低迷しておりましたが、設備投資が一巡したことに加え、台湾をはじめとするアジア地域からの観光客を安定的に確保することにより高い稼働率を保つことができたことから、第3四半期以降は同様に予想を上回る売上および利益を計上することができました。

それらの結果、連結の売上高、営業利益、経常利益、および当期純利益は予想を上回る見込みとなりました。

#### 4. 平成26年3月期通期個別業績の前年実績値との差異（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期(平成25年3月期) 実績(A)	百万円 94	百万円 △95	百万円 △60	百万円 △321	円 銭 △4.31
当期(平成26年3月期) 見込み(B)	68	△76	5	66	0.82
増減額(B-A)	△26	18	66	388	—
増減率(%)	△28.1	—	—	—	—

#### 5. 差異の理由

当期の個別業績につきましては、セキュリティソフトウェアの販売終了に伴い、売上高は減少いたしました。経常利益につきましては、関係会社受取利息や受取配当金があったこと、当期純利益は為替差益が発生したこと等により、前年実績を上回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上